



女性協議会

66カ国からUNI女性大会 働く女性が集結



交流会で着物の着付け体験を楽しむ参加者

世界各国のサービス産業の労組で構成するUNI(ユニオン・ネットワーク・インターナショナル)の第三回世界大会が11月6日から12日まで、長崎市の県立総合体育館で開催されました。世界大

大会の冒頭、UNI日本加盟組織連絡協議会の桜田高明議長が、賃金格差や管理職登用率の低さなど、日本国内での女性の雇用実態を例示。「男女共同参画の新たな道筋として、労組などの意思決定部門で女性が四割を占めれば変わると思う」と述べ、国際的な団結を促しました。

11月6日、在広四局・四国一局の新旧執行委員と地連の書記次長あわせて一人が出席し、「中四国地連女性協議会定期大会」を開催しました。



定期大会参加者で記念撮影

大きな注目を集めています。しかしながら、まだまだ多くの男性が育児休暇の取得が難しい環境にあると指摘。「男性も育児が常識となるよう、我々民放のようない業界から雰囲気作りをしていくことが重要」と述べました。

活発な意見交換や報告など 東北地連女性協定期大会、女性のつどい

11月13日、14日、東北地連女性協議会の「第三回女性のつどい」と「第四回女性協定期大会」が、盛岡市つなぎ温泉「ホテル紫苑」で開催され、東北地連内一単組、労連、地連役員合わせて三〇名が参加しました。今回はお子様連れの参加者が複数いたことが印象的でした。



子どもたちと一緒に「ハイチーズ」

二日目の定期大会では、単組からの2009年度の取り組みが報告されました。女性に関する制度や問題について前進回答を勝ち取った単組もありました。が、仕事もプライベートも充実した人生を送るためには、まだまだ十分とはいえません。2010年度も引き続き、闘争の項目に掲げていくことを再確認しました。

ここ数年、地連内の女性同士のネットワークが確実に広がり、それぞれの活動が目に見えるようになってきました。今後もお互いに情報を共有しながら、よりよい労働環境の整備を目指し、活動を続けたいと思います。

2010年度東北地連女性協役員は以下の通りです。

議長 佐々 朝美
(青森テレビ労組)

副議長 對馬 愛
(青森ケーブルテレビ労組)

事務局長 田中 珠紀
(青森朝日放送労組)

事務局次長 豊川 由美子
(青森テレビ労組)

及しました。広島県では湯崎知事が「イクメン」を宣言、今年10月から実際に育児休暇を取得し、大阪府の橋下知事と論争となるなど

問題などについて報告が行われました。男性の育児休暇取得については、実際に取得した例はごくわずかですが、理想とはかけ離れた現

子衆院議員(民主党)が、肝炎訴訟の原告から国会議員を志すに至るまでを語りました。

続いて「世界金融危機と女性」「女性労働者の組織化」「移民労働と人身取引」「女性に対する暴力」などについて、白熱した議論が展開されました。

「戦争の武器として使われる女性」をテーマに行われた討議では、紛争地の女性の権利侵害を糾弾し、加害者に処罰が下るよう国際機関に要求、和平プロセスでの女性の参画を政府や関係団体に働き掛けるなどの動議を採択して、女性大会は閉会しました。

大会期間中には、海外からのゲストに日本の伝統や文化を理解してもらう催しも開かれました。着付けのコーナーで和服を身に付けてたゲストが、交流会会場で写真撮影に応じるなど、和やかな交流が行われました。

育児休業制度の拡充を方針に 中四国地連女性協議会定期大会



定期大会参加者で記念撮影

大きな注目を集めています。しかしながら、まだまだ多くの男性が育児休暇の取得が難しい環境にあると指摘。「男性も育児が常識となるよう、我々民放のようない業界から雰囲気作りをしていくことが重要」と述べました。

続いて各単組からも育児をめぐる問題などについて報告が行われました。男性の育児休暇取得については、実際に取得した例はごくわずかですが、理想とはかけ離れた現

11月13日、14日、東北地連女性協議会の「第三回女性のつどい」と「第四回女性協定期大会」が、盛岡市つなぎ温泉「ホテル紫苑」で開催され、東北地連内一単組、労連、地連役員合わせて三〇名が参加しました。今回はお子様連れの参加者が複数いたことが印象的でした。

初日に開催された「女性のつどい」は、「働く女性は美しい♪」といったテーマに行われました。参加者には事前に、「セクハラ・パワハラ」「産休・育

度について向き合うきっかけにもなったと思います。

♪♪♪